

# 骨髄バンク NEWS

井つなげプロジェクトオレンジ  
Tsunage Project Orange

未来をつなぐ、  
ヒーローたち。

vol.  
65

新たに**17,980**人がヒーローに！※1 現在**558,988**人がドナー登録中です。※2

※1 2024年4月～9月の新規登録者数 ※2 2024年9月末時点

# HERO'S LIFE

毎号ひとりのドナー登録者さんにフォーカスし、その方の日常や支援の想いを、写真家・幡野広志さんの視点で切り取っていただく企画。34歳の若さで血液がんを発症した経験をもつ幡野さんに撮影いただいた写真は、表紙にも採用されています。ありのままのヒーロー（登録者）の姿をご覧ください！



表紙モデル

ゆきこ  
加藤 有希子さん

54歳の看護師。ドナー登録から20年以上経過し、一度も適合の連絡はないまま、55歳で登録終了を迎える予定。報道記者時代に骨髄移植を取材したことがきっかけで登録した。現在は医療の現場で、患者の支えとなることを目指し、日々活動している。

1



2



3

1 愛猫のくうちゃんとリビングでまったり過ごす時間が、加藤さんにとっての癒しのひととき。

2 小学校で月に一度読み聞かせをしている加藤さんに、お気に入りの絵本を教えてもらった。

3 加藤さんの亡き母の写真とお子さんの写真が、リビングの飾り棚に並んで飾られている。

あと半年で55歳になり  
ドナーとしての定年を  
迎える

加藤さんはもうすぐ55歳になり、ドナーとしての定年を迎える。色褪せたドナーカードに油性マジックで書かれた電話番号の市外局番は福島県内のものだ。

加藤さんは福島県のテレビ局でアナウンサーをしていた30歳の時にドナー登録をした。骨髄移植のことを取材したのが登録のきっかけだ。テレビ局を退職して大阪に移り住んだいまでも、このときの取材対象者と年賀状のやりとりが続いている。

ドナー登録をして25年、加藤さんは一度も適合の通知がくることなく終えることになる。「自分とおなじ型の人が移植を必要な状況にならなくてよかった」と言いつつも少しさみしそうだ。

加藤さんは10歳のときに母親を血液がんの一種である悪性リンパ腫で亡くしている。子どもの頃に周囲の大人に助けってもらったから、自分も誰かを助ける側になりたいのかもしれない。

加藤さんは46歳で看護の専門学校に入学して、現在は看護師として勤務している。娘さんが小学生の頃にはじめた絵本の読み聞かせのボランティアをいまでも続けている。

もうすぐ20歳になる娘さんに骨髄バンクZEMSの取材を受けることを伝えようと、自分もそろそろドナー登録しようと思っていることを教えてくれたそうだ。

ドナー登録もボランティアも自己満足でやっているだけと加藤さんは謙遜していたけど、自己満足で誰かを助けることができるなら、これほどいい自己満足はない。素晴らしいことだ。

写真・文 幡野広志

がん患者の率直な想いをブログやSNSで発信している写真家。34歳の若さで血液がんの一種である多発性骨髄腫を発症し、余命宣告を受けた経験を持つ。



ドナー登録者のみなさん、HERO'S LIFEであなたのことを紹介させてください。どなたでも大丈夫です。お気軽にご連絡をお待ちしています！  
※件名に「バンクニュースHERO'S LIFE」と入力ください。



骨髓バンク  
ユースアンバサダー  
しょう  
酒井 彰さん

自身の体験をnoteで公開したユースアンバサダー

## 提供の理由はどんな些細なことでもいいはず

### 登録のきっかけは池江璃花子選手

2019年頃、競泳の池江璃花子選手が白血病と診断されたというニュースが話題となりました。世間でも白血病に関する報道が増えていた中で、私も骨髓ドナーの存在を知ることになりました。幼い頃から水泳をやっていたこともあり、とても他人事とは思えずに驚いたのを覚えています。そして、いつものように献血をしに行ったある日(当時18歳頃)、ふいに骨髓ドナーに関する案内が目に入ってきて、その場でドナー登録を済ませました。

### 10代の頃からの習慣を活かして

登録してから約5年後、23歳の時に適合の通知が届きました。その時に決意したのが、骨髓提供の体験をレポートとしてまとめること。大学生になってから、自分が取り組んだことを記録しておく習慣を持っていたのですが、骨髓提供という珍しい経験を記録に残しておけることが密かな楽しみになりました。ふつうに生活していると、骨髓提供の流れを事細かに知る機会もなかなかないと思うので、もしかしたら自分の書いたレポートが誰かの助けになるのでは、とも考えていました。

## ● 提供エピソード

適合通知

ドナー確認検査

最終同意

採取前健康診断

提供

提供後

### 全身麻酔で記憶を残すのが大変だった

痛みに強い方ではあると思いますが、術後も(成分献血の方が痛いかもってくらいに)あまり痛みは残りませんでした。退院後も採取部位にリュックサックが当たった時に違和感を感じたくらいです。ただ、事細かにレポートを残す!というのが一番の目標だったにも関わらず、術後は全身麻酔の影響で頭がぼーとしていたため、記憶が曖昧なのが唯一の心残りでした(笑)



▲実際の心電図

### 祖父母が誇らしいと言ってくれた

両親は、提供前から心配をしてくれていて、提供後に報告した際もとても安堵している様子でした。一方、祖父母が提供後、最初にかけてくれたのが「誇らしい」という言葉でした。その言葉のおかげで、自身の行動が誰かのためになったんだと改めて実感することができました。



▲入院時の食事

提供のきっかけや理由はどんな些細なことでも、人の命を救う、という誇らしい行動であることは間違いないので、もっと多くの方がドナー登録や提供について考えてくれることを願っています。

最初は記録に残すのは自身の経験のため、という意味合いが大きかったのですが、実際に提供を終えて、体験レポートを公開してみると、周りの方達からの反応も大きく、結果的に人のためになることができたんだということを次第に実感しました。

自分は今もともと統計について学んでいたり、人一倍行動力があつたりする方なので、当たり前のようにそういつたことを調べていましたが、提供について悩んでいる方も、積極的に情報に触れることで、前向きな気持ちになっただけだと思います。

骨髓提供について調べると、ドナーの健康被害が発生するのはとても低い確率であることや、事案も古いものが多く含まれていることがわかると思います。助成金や保険についても少し調べるだけで、さまざまな不安を解消できるはずです。

提供してみよう  
どうだった？

ドナープロフィール  
酒井 彰さん

2000年生まれ。愛媛県出身。16歳頃に献血を始める。  
白血病で闘病中の方のラジオ番組を聞いていて白血病に関心を持ち、競泳の池江璃花子選手に関する報道で骨髓ドナーの存在を知る。18歳頃にドナー登録、23歳で適合通知が届く。骨髓提供を無事に終え、骨髓バンクのユースアンバサダーとしてボランティア活動中。



## ドナー休暇制度！

ちょこっと座談会

骨髄バンクのスタッフたちが、今気になっているテーマや話題について気まますりに語り合います！

おぐら

ドナー休暇制度を導入している企業が増えていますね！👏

すずき

ドナーさんが提供に向けて仕事を休む日を、勤務先が特別休暇として認める制度だね。

おぐら

現在860以上もの企業や団体が導入してくれています！

すずき

ドナー登録をされた社員さんに適合通知がきたタイミングで導入してくれる場合が多いんです。

おぐら

ドナーさんが直接はたらきかけてくれているんですね👏  
骨髄バンクの担当者から、勤務先にご説明することもできますよね！

すずき

企業によっては「ボランティア休暇」を代替適用したり、一部の日程を特別休暇とするなど、導入の方法はいろいろあるので、そういった情報もできるだけ発信していきたいです。

おぐら

ドナーさんたちが、気兼ねなく休暇をとって、安心して提供に進むことができるよう、ご協力を呼びかけていきましょう！👏👏



おぐら

骨髄バンクメンバーになり1年。  
趣味は読書とスノーボード。



すずき

骨髄バンクメンバーになり11年。  
趣味はゲームとカラオケ。



ドナー休暇制度についてはこちらをご覧ください！

Join us!

# ひろがる！ #プロジェクトオレンジの輪



## 法政大学多摩キャンパスに、ドナー登録の啓発ポスターを掲出！

この度、法政大学のキャンパス内にドナー登録の啓発ポスターを掲出させていただくことになり、前号(vol.64)の「HERO'S LIFE」に登場していただいたユースアンバサダーの林琉美花さんと共に、多摩キャンパス(東京都町田市)を訪問しました。

学生生活課の浅野広人さんに「#つなげプロジェクトオレンジ」の活動についてお話ししたところ、なんとご自身はすでに100回以上も献血に協力されているとのこと。浅野さんからも学生の骨髄バンク認知向上に向けたアイデアをいただき、とても有意義な時間となりました。

## お悩み相談ルーム

提供することになったら  
どれくらい仕事や学校を  
休むことになりますか？

適合通知が届き、確認検査から提供までの期間は、およそ2~4か月間で、その間に検査や面談などで8回前後、指定の医療機関にお越しいただきます。日時は都度コーディネーターと調整をしていただき、1回の所要時間は1~3時間程度です。入院を含めると、全期間を通じて10日程お休みいただきますが、ドナー休暇制度や自治体の助成制度について事前にご確認いただくことで、安心して提供を迎えることができるかもしれません。(骨髄バンクスタッフより)



骨髄バンクや提供に関するお悩みを募集しています。こんなことまで質問していいの？という内容も、幅広く受け付けております。お気軽にお送りください。  
※件名に「バンクニュースお悩み相談」と入力ください。

# ●ご支援のお願い

移植を待つ患者さんのために  
お力を貸してください

40～50代の多くが  
10年以内に登録取り消しに

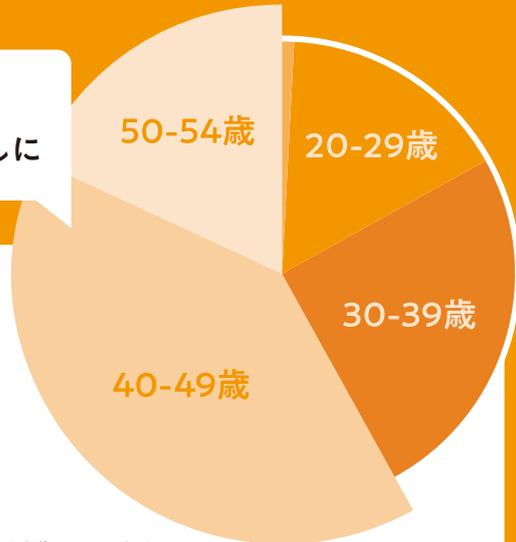
## ドナー登録者の 大卒業時代がやってくる?!

骨髄バンクへの登録には年齢制限があり、満55歳の誕生日で登録取り消しになってしまいます。

15年以内には、現在の登録者のうち約60%の方々がいなくなってしまうという危機的状況に…!

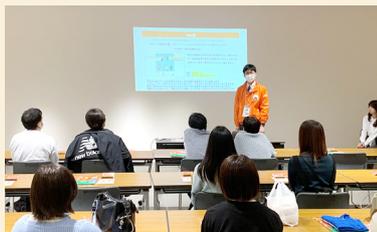
骨髄バンクは、多くの方に骨髄提供について知って頂き、特に若い方にドナー登録を考えて頂けるよう活動しています。

2024年3月末現在



### 課題解決のため、いただいたご寄付が ドナー登録者を増やす活動に 役立っています。

みなさまからいただいたご寄付は、ドナー登録会の開催や普及啓発資料の作成などに使用しております。より多くの患者さんに移植の機会を届けられるよう、みなさまの温かいご支援をお待ちしております。



### 寄付にはさまざまな方法があります

ネット募金からメルカリを使った寄付まで、手軽にご寄付いただける方法が多数ございます。寄付の詳細な方法などは、右下の二次元コードよりご覧ください。



クレジット  
カード



口座振込  
・自動引落し



郵便局(ゆうちょ銀行)  
窓口で寄付

ネット募金

メルカリ寄付

各種ポイント

その他方法は  
こちらから



# ！ 携帯電話番号、住所などの登録・変更方法

携帯電話番号が変更になった方、まだ登録されていない方は速やかにお手続きください。  
適合通知はSMS(ショートメッセージサービス)でもお送りします。

登録内容の変更は  
こちらから



連絡が取れないことで、命を救う機会を失ってしまうかもしれません。



早くおすすめ！

## 方法1 Webサイトで手続きする方

[骨髄ドナー登録者 登録内容変更ページ]

ページ右上の二次元コードリンク先に『アクセスコード』<sup>※</sup>と必要情報を入力してください。入力したメールアドレス宛に届くワンタイムパスを用いてログイン後、登録内容を確認、変更していただけます。  
<sup>※</sup>アクセスコードは同封の宛名台紙または「骨髄バンクニュースWEB閲覧案内」のショートメールをご確認ください。

bmdc マイページ

検索

## 方法2 電話で手続きする方

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。  
電話受付時間:平日(月~金) 9:00~17:00

北海道ブロック血液センター

011-613-6683

北海道

東北ブロック血液センター

022-354-7083

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、  
福島県

関東甲信越ブロック血液センター

03-5534-7534

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、  
東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター

0561-85-4298

富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、  
愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター

072-643-1173

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、  
和歌山県

中四国ブロック血液センター

082-241-1614

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島  
県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター

0942-31-8974

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、  
宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 方法3 献血ルームで手続きする方

最寄りの献血ルームの受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。その場で登録情報変更用紙にご記入いただきます。

<sup>※</sup>献血ルームの所在地、受付時間などは造血幹細胞移植情報サービス(本紙右上の二次元コード)からMENU→「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「受付窓口(固定窓口・登録会含む)」をご覧ください。

！ドナー登録者情報の変更は日本赤十字社へ。それ以外のお問い合わせは日本骨髄バンク(03-5280-1789)へお願いします。